

令和8年(2026年)6月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書(1日目)

令和8年6月8日(月)

割当時間(答弁を除く) { なは自民・無所属の会 45分  
公 明 党 35分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	屋良 栄作 (なは自民・無所属の会)	1 次期市長選 の出馬について  2 辺野古沖 (抗議船) 転 覆事故について	去る5月28日、那覇市議会議員有志20名で、知 念那覇市長に2期目の出馬を要請したが、返答は  本年3月16日に修学旅行で来県した京都府私 立同志社国際高校の2年生18名と乗組員3名を 乗せた不屈丸、平和丸の2隻の小型船が転覆し、 平和丸乗船の女子生徒と不屈丸船長の男性牧師 が死亡し、生徒14名と乗組員2名の計16人が(骨 折など重傷含む)負傷するという痛ましい事故が 起こった。以下伺う  (1) この事故は、どのような経緯で起こった事 故か  (2) どのような点が問題視されているか。わか る範囲で論点列記形式で可能な限り詳細な 説明を伺う  (3) 沖縄への修学旅行のイメージダウンや風 評被害などによる本県・本市への修学旅行取 りやめが起きないか危惧している。当局の見 解を伺う  (4) 観光関連団体などと今後のリスク対応に ついて協議し、対応するべきと考えるが、ど うなっているか伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p data-bbox="475 996 710 1070">3 物価高対策について</p> <p data-bbox="475 1332 710 1482">4 那覇市制施行 105 周年記念式典について</p> <p data-bbox="475 1787 710 1899">5 首里城復元と今後の戦略について</p>	<p data-bbox="740 297 1433 698">(5) 去る5月22日、文部科学省が、同志社国際高校が沖縄・辺野古で実施した研修旅行(平和学習)に対し、教育の政治的中立性を定めた教育基本法第14条に違反すると認定したことで、平和教育を萎縮させてはならないと一部で反発が起きているが、2名の命が失われた重さに鑑み、アジテーションや政争的言動をぶつけ合うのではなく、冷静に議論する時であると考え。平和教育の定義について伺う</p> <p data-bbox="740 750 1433 907">(6) 先人が積み上げてきた沖縄の平和教育と修学旅行を守るために、この事故を機に平和教育と政治運動を明確かつ明解に分ける必要性を痛感している。当局の見解を伺う</p> <p data-bbox="740 996 1433 1070">(1) 昨年末に本市議会で補正予算を通した物価高対策の執行状況と評価について伺う</p> <p data-bbox="740 1124 1433 1236">(2) 今後の国からの物価高対策として、本市及び市民が享受できるものとして、どのようなものがあるか、または想定しているか伺う</p> <p data-bbox="740 1332 1433 1361">(1) 今回の式典で力を入れた点は何か伺う</p> <p data-bbox="740 1415 1433 1691">(2) 今回は市政功労者に加え、特別表彰者の表彰もあり、受賞者のいろんな功績を知り頭が下がる思いであったが、表彰はされていないが、那覇市の協働のまちづくりの担い手として、各所で汗を流している市民が数多いはずである。“地上の星”としてがんばっている方々への見解を伺う</p> <p data-bbox="740 1787 1433 1982">(1) 去る6月2日、国による首里城の正殿復元完成式が11月22日に挙行されると発表された。那覇市としての首里城復元の祝賀行事や参画する民間主催イベントの進捗状況について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 今後は琉球の歴史浪漫テーマパークとしての首里城エリアとして、中城御殿（なかぐしくどうん）や玉陵（たまうどうん）を加えたイメージ戦略をつくり、観光客が沖縄・那覇の光を観る創意工夫が今以上に求められる。例えば首里城、那覇市の歴史博物館が入る中城御殿、玉陵の3施設の周遊券をつくれたらどうか。いまから仕込めば、中城御殿オープンまでには実現可能ではないか。見解を伺う</p>
		6 崇元寺の工事進捗状況と今後の戦略について	<p>(1) 崇元寺の（仮称）ガイダンス施設工事の進捗状況について伺う</p> <p>(2) 琉球の歴史浪漫テーマパーク繋がり、気が早い完成後、崇元寺の施設と首里城、中城御殿、玉陵の周遊券についても考えてみてはどうか。見解を伺う</p>
		7 那覇市と川崎市との友好都市締結30周年について	<p>(1) 去る5月20日は那覇市の市制施行日であると同時に川崎市との友好都市締結日でもあった。30周年の日であった。川崎市との記念事業のこれまで、これからについて伺う</p> <p>(2) 川崎市の皆さんが進める琉球使節 川崎宿江戸上りイベントについて、友好30周年の年でもあり、友好100年の種を植えるという観点から、できる限りの応援支援を行ってほしいと考えるが見解を伺う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	山川 典二 (なは自民・無所属の会)	<p>1 市長の公約達成率及び着手率について</p> <p>2 GW2050 PROJECTSについて</p> <p>3 港湾行政について</p> <p>4 医療行政について</p> <p>5 交通行政について</p> <p>6 MICE事業について</p> <p>7 平和行政について</p>	<p>知念覚市長の1期目の公約の達成率及び着手率を伺う</p> <p>GW2050 PROJECTSの現状と本市の見解を伺う</p> <p>(1) 那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地利用計画策定作業の進捗状況について伺う</p> <p>(2) 那覇港へのクルーズ船寄港実績と経済波及効果について及び那覇港第2クルーズバースのターミナル建設計画を伺う</p> <p>那覇市立病院開院後の現状と今後の主要課題を伺う</p> <p>那覇市LRT整備計画素案作成後の現況を伺う</p> <p>都市型MICEの実績と今後の取組について伺う</p> <p>広島市、長崎市と那覇市の3市長による平和の使者・伝道者としての「市長トークセッション全国キャラバン」を提案しているがどうか。また、昨年那覇市で開催の「市長トークセッション」後、広島、長崎の両市長と平和行政について情報交換をしたことがあるのか伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	栗國 彰 (なは自民・無所属の会)	<p>1 交通行政について</p> <p>2 上下水道行政について</p> <p>3 企業の賃上げ支援について</p>	<p>(1) 交通違反虚偽記載で神奈川県警が今年2月、交通機動隊で2022年3月から2024年12月までに不正な交通違反の取り締まりがあったと発表した。速度違反などを巡る交通反則切符へ虚偽記載が確認され、県警は関与した巡査部長と上司の警部補ら計7人を虚偽有印公文書作成、同行使の疑いで書類送検した          沖縄県警内で速度超過などを巡る交通反則切符の虚偽記載に関する報告があったか伺う</p> <p>(2) 4月からは自転車の交通違反に対して新たなルールが適用されるが、小・中学校の自転車指導啓発について各学校に通知指導しているか伺う</p> <p>鉛の給水管は健康上のリスクが懸念されるが、鉛製給水管の撤去あるいは交換が滞っている。国は約20年前から鉛製給水管をゼロに目標を掲げていたが、全国に今も約191万件、総延長331キロメートルが残っているとのことだが以下伺う</p> <p>(1) 本市の鉛給水管の取替え状況について</p> <p>(2) 本市の直近5年間で鉛の給水管交換は何件あったのか</p> <p>(3) 本市の鉛給水管の総件数と解消率ほどの程度か</p> <p>自治体に企業賃金の引き上げを促すようにと総務省2026年度発注先の民間企業の賃金値上げを積極的に受け入れた地方自治体向け地方交付税の資金枠を創設する。公共サービスの委託契約額の引き上げ率などを調べ評価の自治体に多くの資金を配当するとのことだが、以下伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(1) 2026年度時点の庁舎の清掃や警備やごみ収集、学校給食など委託事業の契約額の伸び率について</p> <p>(2) 入札により過度に低い価格での落札を防ぐ、入札制度の導入率など最も低い価格で落札した企業を調査し一定水準のサービスが乏しいと判断された場合は落札者にしないことができるとのことだが、本市はどのように対応しているか</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、上下水道事業管理者、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	金城 なおこ (なは自民・無所属の会)	<p>1 こども・子育て支援について</p> <p>2 少子化対策・人口減少対策について</p> <p>3 新真和志複合施設について</p>	<p>本市は「こどもまんなかNAHA」を基本理念に掲げ、こどもたちが健やかに成長できる環境づくりや、安心して子育てができるまちづくり、さらには将来を担う子どもたちのキャリア形成支援に取り組んでいる。そこで、本市の取組状況と今後の方向性について、以下伺う</p> <p>(1) 那覇市まなびクーポン事業の支給対象と利用状況、利用効果について伺う</p> <p>(2) 親子健康手帳アプリ「なはDE子育て」の利用状況と効果について伺う</p> <p>(3) 本市が行ったキャリア教育Out of KidZania in なはについて伺う</p> <p>全国的に少子化と人口減少が進む中、本市においても将来的な地域活力の低下が懸念されている。そこで、少子化対策及び人口減少対策について、本市の見解を伺う</p> <p>本施設は、地域住民の利便性向上はもとより、多世代が交流し、地域のにぎわいを創出する拠点として大きな期待が寄せられていることから、以下伺う</p> <p>(1) 新真和志複合施設建設事業の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う</p> <p>(2) 本施設において、子どもから高齢者まで多世代が集い交流できる場をどのように創出していくのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 消防行政について	<p>本市消防局では令和8年4月から新・高機能消防指令システムの本格運用を開始している。市民の安全・安心の確保に向けた取組について、以下伺う</p> <p>(1) 新・高機能消防指令システムの機能について伺う</p> <p>(2) 音声認識機能や映像通報システム「Live 119」で、どのような効果が期待されるのか伺う</p> <p>(3) 新・高機能消防指令システムを活用した、救急体制の効果について伺う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	比嘉啓登 (なは自民・無所属の会)	<p>1 市政運営について</p> <p>2 官民連携の公園再整備について</p> <p>3 国際化教育について</p> <p>4 国民健康保険運営方針（第3期）中間見直しについて</p>	<p>知念市長就任後の4年間において、子育て支援、教育施策、公園整備、産業振興、公共交通、物価高騰対策など様々な施策が推進されてきた          今後も人口減少・少子高齢化への対応、地域経済の活性化、国際都市形成、公共施設の老朽化対策、防災・減災対策など、強いリーダーシップのもとで、本市として取り組むべき課題も多い          市長は1期4年間でどのように総括し、また今後の那覇市が目指すべき将来像と、その実現に向けて重点的に取り組むべき施策をどのように考えているか伺う</p> <p>(1) 官民連携による漫湖公園・新都心公園の多目的利用を議会提案してきた。市長決断のもと進められてきた新都心公園・漫湖公園鏡原側のPark-PFI活用による官民連携の取組では、飲食店や大型遊具の設置などにより市民福祉は大きく向上していると理解しているが、本市の取組状況と成果を問う</p> <p>(2) 都市化が進む本市において、中心市街地や水辺空間に隣接する公園機能の強化に向けた新たな仕掛け作りも必要とされている。市長のリーダーシップのもと、民間も巻き込んだ取組が期待されているが、取組状況を問う</p> <p>国際化教育・グローバル教育に向け生成AI英会話導入や英語指導員配置を含めた英語教育強化について、これまで提案を続けてきた。市長決断のもと今年度4月から本市にて実施されている生成AI英会話導入などの取組状況と成果を問う</p> <p>沖縄県国民健康保険運営方針（第3期）の中間見直しの趣旨及び目的を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 厚生労働省告示第43号に基づく生活保護費の追加支給について</p> <p>6 環境行政について</p>	<p>本市の対応を問う</p> <p>中東情勢による原料不足を受け、指定ごみ袋のデザインを縮小することによる、ごみ袋供給の期待効果を問う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	吉里 明 (公明党)	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) コロナ禍を経た社会変化や物価高騰、国際情勢の変化など、本市を取り巻く環境が大きく変化する中、知念市長のこれまでの市政運営に対する総括と、今後の基本姿勢について、以下同う</p> <p>① この1期4年間で掲げた公約について、達成・実現した主な施策と、現在取り組んでいる施策の状況について伺う</p> <p>② 2025年那覇市民意識調査では、那覇市に「愛着を感じる」と答えた市民が68.3%となった。この結果も踏まえ、1期4年の市政運営をどのように総括しているのか伺う</p> <p>③ 今後の那覇市政に対する使命感と、10月の那覇市長選挙に向けた決意を伺う</p> <p>(2) 人口減少社会の進行や社会構造の変化を見据え、本市が10年後も選ばれる都市として発展していくための未来戦略について、以下同う</p> <p>① 人口減少や若年層流出が進む中、本市を「若い世代に選ばれるまち」としていくため、今後どのような戦略を描いていくのか伺う</p> <p>② 住宅価格や家賃の高騰が進む中、高齢者や子育て世代が安心して暮らし続けられるための今後の住宅政策に対する考えを伺う</p> <p>③ 本市が今後、教育と人材育成を成長戦略の中心に据えながら、デジタルや国際性を生かした成長都市として発展していくため、どのような未来ビジョンを描いているのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 所得向上の取組について	<p>所得向上は、沖縄県及び本市にとって長年の重要課題である</p> <p>第5次那覇市総合計画では、市民所得について、2022年度の中間目標値を270万円、2027年度の最終目標値を300万円としているが、県が公表した2022年度の本市市民所得は260万5千円となっており、目標値との開きが見られる</p> <p>また、物価高騰が高い水準で推移し、食費や光熱費など市民生活への負担が増す中、市民一人ひとりの生活を支える所得向上の重要性は、これまで以上に高まっている</p> <p>さらに、GW2050 PROJECTSにおいても、県内総生産(GDP)や県民所得の向上、多産業連動型経済への転換などが掲げられている</p> <p>本市としても、観光・MICE・ITに加え、教育・人材育成などの強みを活かした成長戦略を推進し、市民所得向上につなげていくことが重要である。そこで以下伺う</p> <p>(1) 本市が第5次総合計画で掲げている市民所得目標について、どのような根拠や考え方に基づき設定したのか伺う</p> <p>(2) 沖縄県及び本市において、所得向上が進まない要因をどのように分析しているのか、本市の見解を伺う</p> <p>(3) 市民所得目標の達成に向けて、本市は今後どのような成長戦略を描いているのか伺う。また、その中で教育・人材育成をどのように位置付けているのか伺う</p> <p>(4) 市民所得向上のために、沖縄の実情を踏まえ、国や県に対してどのような施策や連携を求めていく考えなのかを伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 高校生世代への学びと進路支援について</p> <p>4 がん教育の推進について</p>	<p>2025年度の沖縄こども調査では、物価高騰の影響により「生活が苦しい」と感じる世帯が増加し、高校生の学びや進学にも深刻な影響が広がっていることが明らかになった</p> <p>また、義務教育段階では様々な支援がある一方、高校生世代になると学習支援や進路支援が途切れやすいという課題もある</p> <p>そのような中、家庭環境に左右されることなく、子どもたちが自らの可能性に挑戦できる環境づくりが重要であると考えます。そこで以下伺う</p> <p>(1) 本市として、昨今の物価高騰が高校生世代の学びや進路選択に与えている影響をどのように認識しているのか伺う</p> <p>(2) 現在、本市として高校生世代に対してどのような学習支援や居場所支援を行っているのか伺う</p> <p>(3) 足立区では、中学生向け学習支援に加え、「足立ミライゼミ」として、高校生から大学進学までを見据えた支援体制を構築し、教育を通じた貧困の連鎖解消や人材育成に取り組んでいる</p> <p>本市としても、小中学校から高校生、さらには大学進学までを見据えた切れ目のない学習・進路支援体制の構築が重要と考えるが見解を伺う</p> <p>(4) 現在実施している「まなびクーポン」について、高校生世代まで対象を広げる考えはないか伺う</p> <p>がん教育については、病気に関する知識だけでなく、命の大切さや健康意識、家族や他者への理解を深める「命の教育」として大切であると考えます。これまで本市からも、外部講師を活用した取組や、研修会等を通じた周知について答弁がなされてきた。これまでの経緯も踏まえ、以下伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p data-bbox="470 705 710 784">5 国際交流について</p> <p data-bbox="470 1120 710 1243">6 性の多様性を尊重する取組について</p>	<p data-bbox="734 291 1252 324">(1) 現在の取組状況について伺う</p> <p data-bbox="734 369 1428 616">(2) NPO法人沖縄がん教育サポートセンターでは、学校側が相談窓口へ連絡することで、外部講師派遣の調整が可能であると伺っている。本市として、外部講師を活用したがん教育を、今後どのようにして積極的に推進していくのか見解を伺う</p> <p data-bbox="734 705 1428 1030">豊見城市では、台湾との教育交流協定を締結し、オンライン交流や生徒派遣など、実践型の英語教育を進めていくとの報道が地元紙であった 本市としても、将来を見据えたグローバル人材育成の観点から、台湾との教育交流協定の締結や、海外都市との学校交流・オンライン交流などを通じた実践的な英語教育の充実に取り組む考えはないか伺う</p> <p data-bbox="734 1120 1428 1691">本市は、2015年の「性の多様性を尊重する都市・なは宣言（レインボーなは宣言）」、2016年のパートナーシップ登録制度、2022年のファミリーシップ登録制度の導入など、性の多様性を尊重する先進的な取組を進めてきた また、今年度は、なは女性センター開設30周年及び那覇市性の多様性を尊重する条例制定に合わせてシンポジウム等を開催し、性の多様性を認め合い、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりの実現を目指しているとして そこで、市民の理解を深める取組の一環として、これまで提案してきた、沖縄を舞台とした映画「沖縄カミングアウト物語」の上映会やトークイベントを開催する考えはないか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>7 新真和志複合施設建設事業及び与儀公園再整備事業について</p>	<p>真和志地域においては、少子高齢化や公共施設の老朽化をはじめ、子どもや若者の居場所づくり、地域交流の活性化、交通不便地域であることなど、様々な課題を抱えている</p> <p>そのような中、新真和志複合施設建設事業と与儀公園再整備事業は、単なる施設更新にとどまらず、真和志地域の新たな交流・にぎわい・学び・文化・福祉の拠点形成につながる重要な事業であるとする</p> <p>また、今後の人口減少社会を見据えた持続可能な地域づくりのモデルとなることも期待される</p> <p>そこで、両事業に対する本市の考えについて以下伺う</p> <p>(1) 本市はこれまでの真和志地域の現状と課題をどのように捉えているのか。また、本事業を通して真和志地域を将来的にどのような地域へ発展させていく考えなのか伺う</p> <p>(2) 事業の現在の進捗状況と具体的な整備内容、今後のスケジュールについて伺う。また、昨今の国際情勢や資材価格の高騰、人手不足などが事業に与える影響について伺う</p> <p>(3) 事業を進める中で、地域住民や利用者などからどのような意見・要望が寄せられているのか</p> <p>また、寄せられた意見のうち、現時点で事業計画への反映が難しいものについて、その内容と理由を伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 令和8年6月8日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	立津 伸城 (公明党)	<p>1 物価高対策について</p> <p>2 帯状疱疹ワクチンについて</p> <p>3 教員のメンタルヘルスについて</p> <p>4 平和行政について</p>	<p>(1) なはんちゅPAYの進捗状況と、今回の完全電子化に伴う高齢者やデジタルに不慣れな方への対応について伺う</p> <p>(2) 補正予算における物価高対策として検討されている水道基本料金の7月から9月分の免除について、共同住宅に居住する世帯に対する負担軽減策をどのように講じるのか伺う</p> <p>(3) 中東情勢の緊迫状態の長期化により、市内の企業や事業者にどのような影響が生じていると認識しているのか、市の見解を伺う</p> <p>(4) 厳しい経営環境に置かれている市内事業者への支援強化を図るため、市独自の総合相談窓口を設置するとともに、必要に応じて資金面の支援を行うべきと考えるが、市の見解を伺う</p> <p>(1) 帯状疱疹ワクチン接種補助の実施状況と課題について伺う</p> <p>(2) 50歳以上65歳未満の方々についても、帯状疱疹の発症予防及び接種費用の負担軽減を図るため、本市独自の助成を行う考えはないか、市の見解を伺う</p> <p>教職員のメンタルヘルス対策の取組状況と今後の課題について伺う</p> <p>(1) これまで公明党会派が提案した、核軍縮や平和構築を目的とする国際的な対話の場であるパグウォッシュ会議の那覇市開催誘致について、その後の検討状況と、本市で開催することの意義について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 宿泊税について</p> <p>6 上下水道行政について</p> <p>7 高齢者住宅支援について</p>	<p>(2) 昨年10月、会派として知念市長に要望書を提出し、「GW2050 PROJECTS」に国連や国際機関と連動した平和創造拠点を位置付けるよう求めたが検討状況について伺う</p> <p>(3) 連携協定を締結している本市と国連大学とのこれまでの取組内容と成果、併せて今後どのように連携を発展させていく考えがあるか伺う</p> <p>(4) 那覇・広島・長崎の3市が緊密に連携し、共同で新たな「平和学習ツール」を作成・展開していくべきと考えるが、本市の見解を伺う</p> <p>(1) 令和9年2月から導入予定の宿泊税について、今後のスケジュールと、市民生活や地域経済にどのような効果やメリットをもたらすと考えているのか、見解を伺う</p> <p>(2) 現在実施しているアンケート調査の結果を踏まえ、施策へどのように反映させるのか伺う</p> <p>(1) 本市における下水道管の修繕工事について、6月2日沖縄タイムス新聞報道では「今年度中に応急処置を始める」との説明があったが、その具体的な内容と今後の対応について伺う</p> <p>(2) 3月30日に発生した国場地内での水道管破損による漏水及び道路陥没事故について、詳細と今後の対応を伺う</p> <p>高齢者見守りシステムの詳細と今後の取組について伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長</p>